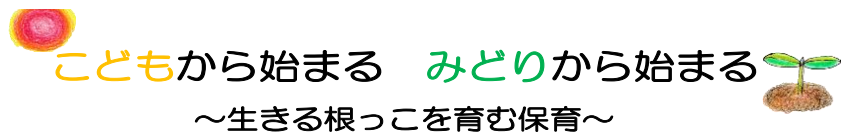


幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園



## 「まこと先生だより 第15号」

### 1歳児みかん組の園外保育のお供とハガキの投函

台風一過後の素晴らしい青空の広がる中、1歳児の園外保育のお供をさせていただきました。当日は園児16名と保育者5名と私の22名の大行列です。今回の目的は、おじいさんとおばあさんに園児の写真を載せたお手紙（葉書）を郵便局のポストに直接園児が入れることでした。本当は敬老の日以前に葉書を投函する予定でしたが、台風の影響で長雨が続き外出することができなかつたために敬老の日を過ぎてしまったのです。（おじいさんおばあさんすみません。）

お散歩カート2台にそれぞれ6名が乗り、足の丈夫な園児4名は保育者と一緒に歩きました。横断歩道を渡ったり、交番のおまわりさんに挨拶したりしました。横断歩道上では停止してくれた運転手や助手席の方から笑顔で手を振ってもらったりしました。そうこうするうちに郵便局に約15分かかってやっと到着しました。郵便局前のポストで櫻田先生が一人一人の園児を抱え、準備したハガキを園児一人一人に持たせてポストに投函させました。その間他の保育者と私は園児の見守りでした。

私にも3名の孫（5歳児2名と3歳児1名）がおり、同じように敬老の日を過ぎた21日に葉書が2つの園から同時に届きました。清武みどりと同じように長雨で投函できずに台風通過後の20日に投かんされたようです。

16名の園児の投函を終えて帰りの途につきました。道すがらの用水路で真っ赤なハッコウトンボを見たり、元気に泳ぐ鯉の姿を見たり、台風で落ちた木の実を見たりして、みんなで秋を少し感じながら帰りました。

今回の園外保育のお供を経験して、櫻田先生をはじめとした保育者全員が園児の安全を最優先して園外保育をしていることや敬老の日という節目を大切にしていることを感じたところでした。感謝・感謝です。



